

2026年3月27日

各位

会社名 株式会社大和証券グループ本社  
代表者名 代表執行役社長 荻野 明彦

**「第5回日経統合報告書アワード」にて「レジェンド賞」を受賞、  
GPIFの運用機関が選ぶ「マテリアリティの観点から『優れたサステナビリティ開示』」に選定**

株式会社大和証券グループ本社（以下「当社」）が発行した「統合報告書 2025」が、日本経済新聞社が主催する「第5回日経統合報告書アワード」において、5年連続で入賞した企業を称える「レジェンド賞」を受賞しました。また、GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）の運用機関が選ぶ「マテリアリティの観点から『優れたサステナビリティ開示』」に選定されました。これらの評価は、当社が統合報告書を中心に、財務・非財務を統合した情報開示の充実に継続的に取り組んできた点が評価されたものと受け止めています。

当社では、株主・投資家をはじめとしたステークホルダーの皆さまに、当社グループの強みや中長期的な価値創造ストーリーを理解していただくために、2016年より統合報告書を発行しています。今年度の統合報告書は、2024年4月に策定、公表しました3年間の中期経営計画の初年度における進捗や課題、今後の成長戦略について、財務・非財務の両面から、社外取締役や経営陣の声も交えてご紹介しています。伝えるべきキーポイントを厳選し、読みやすさと実用性を両立させた構成としています。



特設ページ URL :

<https://www.daiwa-grp.jp/ir/toolkit/annualreport/special>

統合報告書 PDF 版 :

[https://www.daiwa-grp.jp/ir/toolkit/annualreport/pdf/ar2025/ar2025j\\_all.pdf](https://www.daiwa-grp.jp/ir/toolkit/annualreport/pdf/ar2025/ar2025j_all.pdf)

ポイント解説動画 :

<https://www.youtube.com/watch?v=fb-F2gLDipg&t=2s>

■ 「第5回日経統合報告書アワード レジェンド賞」受賞の審査員評価コメント（抜粋）

- 総合証券グループとして、ウェルスマネジメント、グローバル・マーケット、グローバル・インベストメント・バンキング、アセットマネジメントと各々のビジネスモデルと資本効率を1つの価値創造ストーリーに統合している点は高評価。市場ボラティリティとビジネスミックスの関係を解説するなど、サイクル説明に比重を置いた構成が印象的だった
- 「心理的安全性」を経営の核に掲げ、組織風土改革を成長ドライバーとする人材重視戦略が読み手に伝わる。「お客様の資産価値最大化」を軸に、営業ノルマ廃止や人とデジタルのハイブリッド戦略による AUM モデルへの移行を自身の言葉で語る CEO メッセージは印象的。ストック収益拡大が PBR 向上に寄与するロジックや、TNFD 開示等のサステナビリティ戦略も明快で、伝統的証券会社からの進化を感じさせる

当社は、今後も統合報告書の充実に取り組むとともに、ステークホルダーの皆さまとの積極的なコミュニケーションと公正かつ適時・適正な情報開示に努め、企業価値向上に努めてまいります。

（ご参考）「日経統合報告書アワード」とは

1998年より毎年、日本企業が発行するアニュアルレポートの更なる充実と普及を目的として、「日経アニュアルレポートアワード」が日本経済新聞社の主催により実施されてきました。近年、アニュアルレポートは、非財務情報である ESG 要素を財務情報に包摂し、企業価値を説明する報告書として進化・発展し、大いに注目されています。このような状況を捉え、2021年より「日経アニュアルレポートアワード」から「日経統合報告書アワード」に改称され、審査体制の多層化・拡充や受賞体系の再編・拡充が図られました。「第5回日経統合報告書アワード」は504の企業・団体から応募があり、機関投資家らによる審査を経て各賞が選ばれました。

本賞に関する詳しい情報は以下の主催者ウェブサイトをご参照ください。

<https://ps.nikkei.com/nira/index.html>

以 上